

第2章

令和5年度の 取組み実績と評価（概要）



令和5年度の実績と
その評価の概要を記載しています。

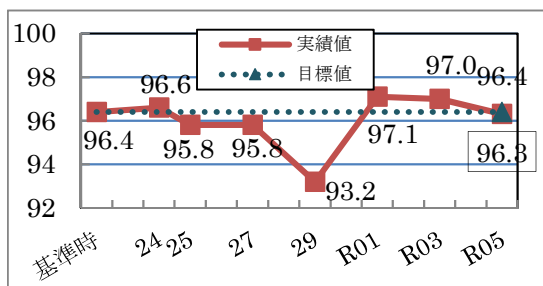
1. 4つの分野における主な取組み実績と評価の概要

自然環境分野

■取組概要と主な指標の達成状況

多様な主体との連携を深めながら、生き物の生息状況のデータの蓄積や公園の防災機能の強化に取り組み、さらに、グリーンボランティア等の育成にも力を注ぎ、自然と暮らしが調和した緑豊かな環境の形成を図りました。

●みどりが豊かと感じる市民の割合



■令和5年度の主な取組評価

●生物多様性の確保に関する取組みの推進 (p.30)

市民団体や企業、専門家、教育委員会など多様な主体と連携し、市内の公園や河川をフィールドにシリーズで「生物多様性セミナー」を実施しました。

また、令和5年度も、「多摩市いきもの季節観測」や「多摩川野鳥ギャラリー」「多摩の自然ギャラリー」など市民から生き物の情報を募集し、ホームページ等に掲載する取組を行いました。



生物多様性セミナー（乞田川の恵み）

●生産緑地地区の保全と活用 (p.34)

連光寺・若葉台里山保全地域内の市が取得した農地にて、公園緑地課が経済観光課農政担当と共同で、（仮称）連光寺六丁目農業公園の整備、開園に向けた試験事業を実施するとともに、有識者と関係する市民を入れた検討会を実施し、農業公園の整備・活用・運営に関する方針の検討を進めました。また、農業公園市民サポーターの制度も本格的に開始しました。

●安全安心な暮らしと調和したみどりの構築 (p.39)

大栗橋公園の拡張部分を芝生広場とし、防災パーゴラやかまどベンチ等を設置し、一時避難所や防災に関する普及啓発の機能を付加して整備しました。

かまどベンチ



防災パーゴラ



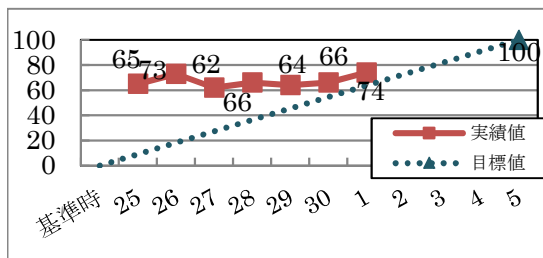
生活環境分野

■取組実績の概要と主な指標の達成状況

大気環境については光化学オキシダント、河川水質については水素イオン濃度及び大腸菌群数がいくつかの地点で環境基準を超過していました。

まち美化の推進では、マイクロプラスチック問題に関する動画を制作し、啓発活動を行うなど、安全で快適な生活環境の保持に努めました。

●ポイ捨てのないきれいなまちと感じる市民の割合



■令和5年度の主な取組評価

●公害の発生防止と迅速な対応 (p.54)

市民から騒音等の相談が寄せられた場合には、迅速に現場を確認し、必要に応じて法令に基づく指導を行いました。騒音等に関する相談件数は、年々減少傾向にあり、指導や啓発といった取り組みの成果が表れてきています。

●生活環境の保全 (p.56)

本市の大気環境は改善されてきているものの、光化学オキシダントについては、環境基準を達成できていない状況です。全国的に達成率は低いものの、引き続き、Clear sky サポーター制度の周知や夏季のVOC排出削減の啓発活動を行っていきます。

●まち美化の推進 (p.59)

春と秋にまち美化キャンペーンを実施し、駅周辺だけでなく、乞田川沿いについても清掃活動を行いました。

また、マイクロプラスチック問題について、市民一人ひとりの意識啓発・具体的な行動につなげていくことを目的に新たに啓発動画を制作しました。

きれいな東京の空を取り戻すために、
みんなで参加しましょう



Clear sky サポーターについて (東京都環境局)

https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/air/air_pollution/torikumi/clearsky/1.html



マイクロプラスチック問題啓発動画

<https://www.youtube.com/watch?app=desktop&v=kyiBIFJ4Jzc>

kyiBIFJ4Jzc

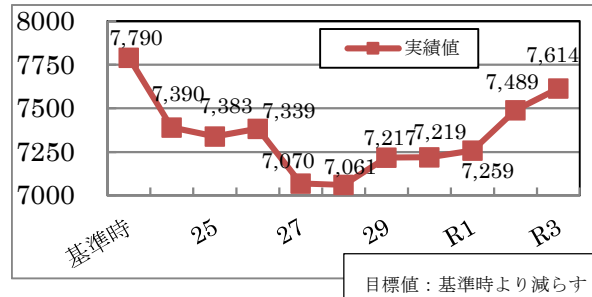


地球環境分野（エネルギー関係）

■取組実績の概要と主な指標の達成状況

市内のエネルギー使用量は前年度より増加しているものの、依然として基準時より低い水準にあります。増加の要因は事業者の新規開業によるものと推測されます。家庭におけるクリーンエネルギーの導入促進や省エネルギー設備導入補助を行い、CO2排出量削減に努めました。

●市内のエネルギー使用量



■令和5年度の主な取組評価

●省エネルギーの推進（p.76）

地球温暖化対策実行計画を改定し、新たな目標を設定しました。また、夏の省エネルギー対策として多摩市版クールシェアを実施しました。

省エネ家電買換促進補助事業として、省エネエアコン及び冷蔵庫の買い換えを促し、家庭におけるCO2排出削減を行いました。

図書館本館にて2か月間にわたって企画展示を行い、気候危機の共有に努めました。

●再生可能エネルギーの推進（p.81）

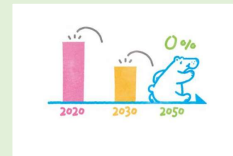
家庭向けの脱炭素化への取組みとして、住宅用創エネルギー・省エネルギー機器等導入補助金を行い、令和5年度太陽光発電システムの申請件数は、令和4年度の23件から58件と大幅に増加しました。

補助金を交付した市内の家庭の発電量は、平成20年度からの累計で361件・1,536.5kWとなり、メガソーラー級となってきています。

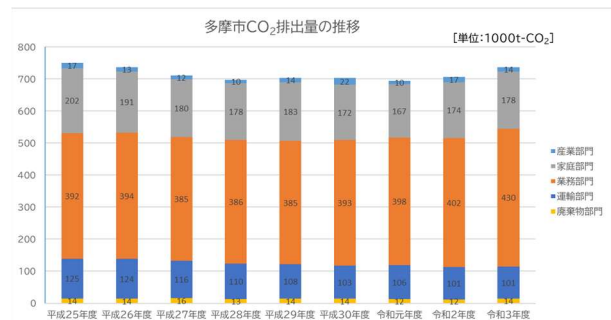
- ◆ 気候変動は避けることのできない緊急事態（気候危機）。
- ◆ 気候危機を防ぐために、気候が危機的な状況にあることを全市民と共有し、地球温暖化対策に積極的に取り組む。

<取組みの目標>

- ① 「気候危機」が迫っている事実を市民全員と共有し、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指します。
- ② 資源の有効活用を図り、使い捨てプラスチックの削減を推進します。
- ③ 生物多様性の大切さを共有し、その基盤となる水とみどりの保全を積極的に推進します。



多摩市気候非常事態宣言(概要)



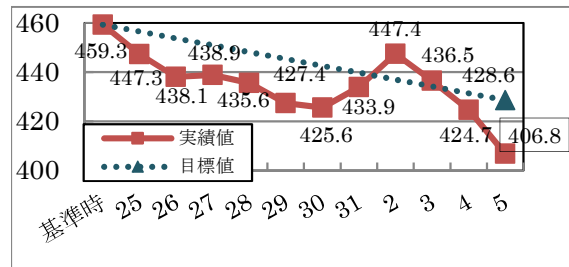
市域での二酸化炭素（CO₂）排出量の推移

地球環境分野（資源循環関係）

■取組実績の概要と主な指標の達成状況

家庭系ごみ排出量（市民 1 人 1 日あたり）は 406.8 g となり、目標を達成できています。定期的に行っているサロン（相談会）の効果や分別、リサイクルに関する周知・啓発の結果が表れてきている結果と考えられます。ごみの減量啓発活動に取組み、環境にやさしい暮らしの推進に努めました。

●家庭からの 1 人 1 日あたりのごみ排出量の推移



■令和5年度の主な取組評価

●ごみの発生抑制と減量の推進（p.70）

ダンボールコンポストの使い方相談会（サロン）を開催し、家庭から出る生ごみを堆肥化する生ごみ自家処理の支援を行いました。また、普及に特に効果があると考えられる花壇活動に取り組む団体等を対象に、ダンボールコンポストの体験募集を行いました。

事業系ごみは、東京都と連携した大規模事業所への立ち入調査等を実施し、一般廃棄物と産業廃棄物の資源化の協力依頼と減量啓発を行いました。

●生ごみのリサイクルの推進（p.75）

非電動式生ごみ処理機器の補助金、ダンボールコンポストの使い方相談会（サロン）を実施し、生ごみ堆肥化の取り組みへ支援を行いました。また、より多くの市民へ生ごみ処理に取り組んでもらうきっかけとして、「生ごみ入れません！袋」の配布を補助金交付者に配付しました。非電動式生ごみ処理機器の申請基（個）数は 209 基、補助金額 185,600 円となり、令和4年度の申請基（個）数 146 基、補助金額 175,000 円を大きく上回り、利用者が増加しました。



ダンボちゃん講習会

多摩市生ごみ処理機器等の補助金制度

ご家庭から出される燃やせるごみの約 3 割が生ごみで、多摩市全体では年間約 9,000 トンも焼却処分されています。多摩市では生ごみ減量がごみ減量の有効な手法と考え、自家処理を積極的に推進するため、ご家庭での生ごみの堆肥化や減量に取り組まれる方へ、生ごみ処理機器の購入費の一部を予算の範囲内で補助しています。

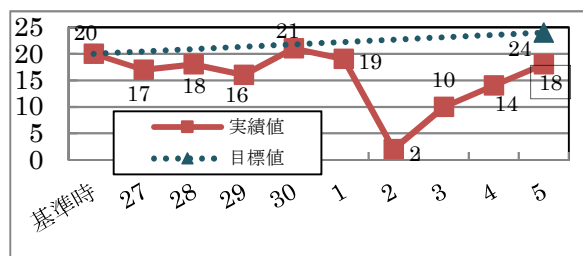


環境情報分野

■取組実績の概要と主な指標の達成状況

幼少期から継続して行う環境教育は、環境問題を主体的に捉え、解決に取り組む知識や価値観を身につけるためにとても大切なことと考えています。このことから、各種体験等を経験できる場の提供を増やし、環境への理解促進と適切な情報提供に努めました。

●子どもを対象とした環境に関する活動の実施回数



■令和5年度の主な取組評価

●地域と連携した環境教育の推進（p.92）

（1）ESDの推進

「ESD コンソーシアム」を実施し、地域や企業、大学や行政機関と意見交換を行うとともに、連携・協働しながらESDの充実を図っていくことの確認を行うことができました。

令和5年度多摩市子どもみらい会議を実施し、各学校の実践発表や市長部局の担当者との意見交換により、小・中学校での連携や、多摩市のためにできることについて提言を行いました。



環境教育を推進する地域団体と連携

（2）幼少期における環境学習の推進

市内の幼稚園、保育園では、野菜の体験栽培、昆虫など身の回りの自然と触れ合う体験等を開催しました。また、市内小学校の4年生等を対象に、資源循環型社会の構築に向けた取り組みを学習し、プラスチックごみや、食品廃棄物の削減についてSDGsを交え、ごみ減量や発生抑制・再利用、リサイクル等の重要性について、出前教室を実施しました。

●人材の育成と体制づくり（p.99）

市民団体（多摩市グリーンボランティア森木会）と協働し、公園や緑地の雑木林等の管理に関わる指導者養成のための「多摩市グリーンボランティア講座（初級）・（中級）」を開催しました。また、「多摩市消費生活フォーラム&エコフェスタ2023」では、暮らしや環境に関する市民団体同士の連携が強化されるような場を提供しました。



身近な生きものの観察の様子

2. 取組内容と評価について

(1) 4つの分野における施策方針と管理指標の関係性について

自然環境分野、生活環境分野、地球環境分野及び環境情報分野の4つの分野では、まず「施策方針」を設定し、それぞれの「施策」、及び施策を進めるにあたっての「取組み」を定めています。そして、計画期間における短期目標の達成度や施策の進捗状況を管理するための「管理指標」を設定しています。



自然環境分野

施策方針	管理指標
A生物多様性に配慮したまともなみどりの保全	①みどり率
	②みどりが豊かと感じる市民の割合
B暮らしと調和したみどりの適切な育成管理	③みどりの維持管理活動に参加したことのある市民の割合
C身近なみどりの創出と公園緑地の再生	④更新が必要な公園緑地の施設更新達成率
D歴史文化の保全と活用	⑤地域の歴史文化活動に参加したことのある市民の割合

生活環境分野

施策方針	管理指標
E健康的で安全安心な暮らしの保持	①大気汚染にかかる環境基準適合率
	②水質汚濁にかかる環境基準適合率
F美しく快適なまちの保持	③地区計画の地区整備計画面積
	④ポイ捨てのないきれいなまちと感じる市民の割合
	⑤放置自転車台数

地球環境分野

施策方針	管理指標
Gごみの減量と資源の有効利用	①家庭系ごみ排出量
	②再生利用率
	③スーパーエコショップ認定店の数
Hエネルギーの有効利用	④市内の二酸化炭素(CO ₂)排出量
	⑤市内のエネルギー使用量
I良好な水循環の推進	⑥雨水貯留槽設置件数
J環境にやさしい交通の推進	⑦ミニバス利用者数

環境情報分野

施策方針	管理指標
K環境教育の推進と環境学習・環境活動の充実	①子どもを対象とした環境に関する活動の実施回数
L環境に関する情報発信の充実	②ユネスコスクール登録校の環境教育への取組みの情報発信

(2) 施策における各取組み項目評価一覧

【評価の表記方法】

取組みが前進した …… 

変わらない …… 

取組みが後退した …… 

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた項目

「工夫して実施」……新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、感染対策等の工夫を行いながら実施したもの

「縮小・延期等」……新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、取組みの縮小・延期・中止等をせざるを得なかったもの

分野	短期 目標	施策と取組み項目						掲載 ページ
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
自然環境分野	自然と暮らしが調和した多摩のみどりの形成	A 生物多様性に配慮したまとまりあるみどりの保全						
		01 生物多様性の確保に関する取組みの推進						
		①生物多様性の確保に向けた体制づくり		工夫して実施	工夫して実施			30ページ
		②生物生息空間の骨幹となるみどりの拠点と軸の形成						30ページ
		③生物環境の把握とデータバンク化		縮小延期等	縮小延期等	縮小延期等		31ページ
		02 拠点や軸となるまとまりある民有樹林の保全						
		①法制度を活用したまとまりある民有樹林の保全						32ページ
		②その他の手法によるまとまりある民有樹林の保全						32ページ
		03 まちなかの民有樹林の保全						
		①緩やかな法制度や条例等の活用による民有樹林の保全						33ページ
		②その他の手法によるまちなかの民有樹林の保全						33ページ
		04 生産緑地地区の保全と活用						
		①「みどりの拠点」内の生産緑地地区の保全活用方策の検討						34ページ
		②その他の生産緑地の保全活用方策の検討						35ページ
		05 水環境の維持・保全						
		①湧水や農地等の水路の保全						36ページ
		②公園緑地の池やせせらぎの維持改善						36ページ
		③乞田川や大栗川、多摩川等の河川環境の把握と維持改善						37ページ
		06 周辺自治体との広域連携の推進						
		①周辺自治体や東京都と連携した水とみどりの保全・再生・活用						38ページ
		②市域を越え市民がみどりを楽しめる環境づくり						38ページ

分野	短期 目標	施策と取組み項目	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	掲載 ページ
自然環境分野	自然と暮らしが調和した多摩のみどりの形成	B暮らしと調和したみどりの適切な育成管理						
		07 安全安心な暮らしと調和したみどりの構築						
		①公園緑地の周辺環境における防犯や交通安全に配慮したみどりの点検と管理方策の構築	➡	➡	➡	➡	➡	39ページ
		②防災に配慮した公園緑地ネットワークの再構築	➡	➡	工夫して実施	➡	➡	39ページ
		③景観に配慮したみどりのあり方と保全手法の構築	➡	➡	➡	➡	➡	39ページ
		08 みどりの適正な育成管理						
		①「街路樹よくなるプラン改定版」に基づく街路樹の管理の推進	➡	➡	➡	➡	➡	40ページ
		②「みどりの管理シート」に基づく公園緑地の育成管理の推進	➡	➡	➡	➡	➡	40ページ
		③民有樹林の育成管理	➡	➡	➡	➡	➡	41ページ
		09 パートナーシップによる公園緑地等の育成管理						
		①既存支援制度の活用による持続的な育成管理	➡	➡	➡	➡	➡	42ページ
		②グリーンボランティア制度による樹林等の持続的な育成管理	➡	➡	➡	➡	➡	42ページ
		③市民イベント等を活用した公園緑地等の育成管理の推進	➡	縮小延期等	工夫して実施	➡	➡	42ページ
		C身近なみどりの創出と公園緑地の再生						
		10 身近な緑化の推進						
		①多摩市街づくり指導基準の強化や緑化などへの意識高揚の推進	➡	➡	➡	➡	➡	43ページ
		②公共施設の緑化推進	➡	➡	➡	➡	➡	43ページ
		③市民の身近な緑化活動への支援	➡	➡	➡	➡	➡	43ページ
		11 公園緑地のリニューアル						
		①公園緑地の総点検に基づく計画的な施設更新	➡	工夫して実施	工夫して実施	工夫して実施	➡	44ページ
		②借地公園の適切な見直しの推進	➡	➡	➡	➡	➡	44ページ
		③市民参加型のリニューアルの推進	➡	工夫して実施	工夫して実施	工夫して実施	➡	44ページ
		12 みどりのリサイクルの推進						
		①剪定枝等の土壌改良材としての活用の推進	➡	➡	➡	➡	➡	45ページ
		②みどりのリサイクルのあり方の検討	➡	➡	➡	➡	➡	46ページ
		D歴史文化の保全と活用						
		13 文化財等の保全と活用						
		①史跡文化財や歴史的空間の保全	➡	➡	➡	➡	➡	47ページ
		②みどりと連携した史跡文化財の活用	➡	工夫して実施	➡	➡	➡	48ページ

分野	短期 目標	施策と取り組み項目	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	掲載 ページ
生活 環境 分野	安全 で 快適 な 生活 環境 の 保持	E健康的で安全安心な暮らしの保持						
		14 公害の発生防止と迅速な対応						
		①公害の発生防止						54ページ
		②公害への迅速な対応						55ページ
		15 生活環境の保全						
		①生活環境の保全のためのモニタリング（定期調査と情報提供）						56ページ
		16 放射線への対応						
		①放射線にかかる情報提供と迅速な対応						58ページ
		F美しく快適なまちの保持						
		17 まち美化の推進						
		①まち美化の推進		工夫して 実施	工夫して 実施	工夫して 実施		59ページ
		18 路上駐車・放置自転車の防止						
		①路上駐車・放置自転車の防止		縮小 延期等				60ページ
		19 みどりと都市が調和した街なみの保持						
		①原風景の保全						61ページ
		②街なみに配慮した建物等の建設						61ページ
		③街なみの保全や育成等に関する制度等の活用		工夫して 実施				62ページ

分野	短期 目標	施策と取り組み項目	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	掲載 ページ
地球 環境 分野	環 境 に やさ しい 暮 ら し の 推 進	Gごみの減量と資源の有効利用						
		20 ごみの発生抑制と減量の推進						
		①ごみの発生抑制と減量の推進						70ページ
		②エコショップ・スーパーエコショップの推進		縮小 延期等				70ページ
		21 ごみの適正処理に向けた分別の徹底						
		①ごみの分別の徹底						72ページ
		22 資源の有効利用						
		①資源の有効利用						73ページ
		②焼却灰の再利用						73ページ
		③リサイクル活動の支援						74ページ
		23 生ごみのリサイクルの推進						
		①生ごみ堆肥化の促進						75ページ
		Hエネルギーの有効利用						
		24 省エネルギーの推進						
		①省エネルギーの実践						76ページ
		②省エネルギー型の設備や機器の導入						78ページ
		③みどりによる省エネルギー活動の推進		工夫して 実施				79ページ
		④水素エネルギー利活用の推進						80ページ
		25 再生可能エネルギーの推進						
		①再生可能エネルギーの導入促進						81ページ
		②ごみ焼却の余熱利用の推進						82ページ
		I良好な水循環の推進						
		26 雨水地下浸透の推進						
		①雨水地下浸透の推進						83ページ
		27 雨水貯留の推進と水の有効利用						
		①雨水貯留施設の導入と活用						84ページ
		J環境にやさしい交通の推進						
		28 自動車排出ガスの削減						
		①環境にやさしい自動車利用の推進						85ページ
		29 公共交通・自転車利用の促進						
		①公共交通利用の推進		縮小 延期等	縮小 延期等	縮小 延期等		86ページ
		②自転車・徒歩による健康増進						86ページ

分野	短期 目標	施策と取組み項目						掲載 ページ
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
環境情報分野	環境への理解促進と適切な情報提供	K環境教育の推進と環境学習・環境活動の充実						
		30 地域と連携した環境教育の推進						
		①持続発展教育・ESDの推進		工夫して実施				92ページ
		②幼少期における環境学習の推進		工夫して実施				93ページ
		31 環境を楽しむ体験型活動の充実						
		①子どもを対象とした環境活動の推進		工夫して実施	工夫して実施			96ページ
		②環境を楽しむ多様な機会の提供		工夫して実施	工夫して実施			97ページ
		32 人材の育成と体制づくり						
		①指導者・リーダーの育成		工夫して実施	工夫して実施	工夫して実施		99ページ
		②活動拠点の提供と活用		工夫して実施	縮小延期等			100ページ
		③活動支援						101ページ
		④各種団体や市民、指導者との連携支援		工夫して実施				102ページ
		L環境に関する情報発信の充実						
		33 みどりと環境に関する普及啓発						
		①環境に関する情報提供や広報の推進						104ページ
		②環境に関する施策の実施状況等の報告						105ページ
		③みどりと環境活動等に関する情報提供の充実			工夫して実施			105ページ
		34 環境の安全性に関する情報提供						
		①環境に関する適切な情報公開						107ページ
		②環境に関する相談窓口での対応						107ページ

評価別項目数の合計

	取組み項目数														
	73														
	取組み内容の評価														
	前進					変化なし					後退				
	R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3	R4	R5
	39	23	27	27	30	34	31	31	40	43	0	0	0	0	0
自然環境	13	8	10	10	11	20	19	16	20	22	0	0	0	0	0
生活環境	5	2	4	3	3	4	4	4	5	6	0	0	0	0	0
地球環境	11	10	8	9	10	7	5	8	8	8	0	0	0	0	0
環境情報	10	3	5	5	6	3	3	3	7	7	0	0	0	0	0

注) 令和2年度から令和4年度については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けた項目があり、取組み項目数は令和5年度と一致しません。

(3) 短期目標達成度及び施策の進捗状況管理指標一覧

【進捗評価の表記方法】

目標を達成 …



目標に対して前進 …



変わらない …



目標に対して後退 …



分野	短期目標	管 理 指 標	基準値 (H22)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値 (R5)	進捗 評価	掲載 ページ		
自然環境分野	自然と暮らしが調和した	①みどり率(市内に占める樹林地、公園緑地、水面などで覆われた面積の割合)	46.7% (※1)	50.0%	－ (※1)	－ (※1)	－ (※1)	－ (※1)	現状維持	目標達成	49ページ		
		②みどりが豊かと感じる市民の割合	96.4%	97.1%	－ (※2)	97.1%	－ (※2)	96.3%	現状維持		50ページ		
		③みどりの維持管理活動に参加したことのある市民の割合	66.1%	56.6%	－ (※2)	57.5%	－ (※2)	59.8%	80.0%		50ページ		
		④更新が必要な公園緑地の施設更新達成率	0.0%	10.3%	－ (※2)	13.8%	13.8%	17.2%	40.0%		50ページ		
		⑤地域の歴史文化活動に参加したことのある市民の割合	6.6%	4.0%	－ (※2)	4.5%	－ (※2)	4.3%	20.0%		51ページ		
生活環境分野	安全で快適な生活環境の保持	①大気汚染にかかる環境基準適合率 ※SO ₂ 、NO ₂ 、SPM、CO、Oxのパーセンテージ は、夏期または冬期に市内複数箇所 で測定した地点のうち、環境基準を満たした 地点数の割合を表している。 これらを総合して評価した結果を管理指標 としている。	SO ₂	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	目標達成	63ページ	
			NO ₂	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	目標達成	63ページ
			SPM	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	目標達成	63ページ
			CO	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	目標達成	64ページ
			Ox	0%	0%	0%	0%	0%	75%	100%		64ページ	
			総合評価										
		②水質汚濁にかかる環境基準適合率 ※pH、BOD、SS、DO、大腸菌群数のパーセン テージは、夏期および冬期に市内複数箇所 で測定した地点のうち、環境基準を満たした 地点数の割合を表している。 これらを総合して評価した結果を管理指標 としている。	pH	64%	50%	67%	17%	58%	42%	100%		64ページ	
			BOD	100%	92%	100%	92%	100%	100%	100%	100%	目標達成	65ページ
			SS	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	目標達成	65ページ
			DO	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	目標達成	65ページ
			大腸菌群数	50%	0%	8%	8%	83% (※3)	75%	100%		66ページ	
			総合評価										
		③地区計画の地区整備計画面積	400ha	412ha	412ha	412ha	412ha	412ha	420ha		66ページ		
		④ポイ捨てのないきれいなまちと感じる市民の割合	－	74%	－ (※4)	－ (※4)	－ (※4)	－ (※4)	100%に 近づける		67ページ		
		⑤放置自転車台数	219台	27台	31台	27台	35台	57台	0台に 近づける		67ページ		

分野	短期目標	管理指標	基準値 (H22)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値 (R5)	進捗 評価	掲載 ページ
地球環境分野	環境にやさしい暮らしの推進	①家庭系ごみ排出量(市民1人1日あたり)	459.3g	433.9g	447.4g	436.5g	424.7g	406.8g	428.6g	目標達成	87ページ
		②再生利用率	34.9%	33.8%	35.0%	34.0%	34.1%	32.0%	33.7%以上		87ページ
		③スーパーエコショップ認定店舗の数	0店	15店	14店	24店	23店	23店	36店		87ページ
		④市内の二酸化炭素(CO ₂)排出量(※5)	646.0kt (H21)	703.0kt (H29)	704.0kt (H30)	693.0kt (R1)	706.0kt (R2)	736.0kt (R3)	535.8 kt		88ページ
		⑤市内のエネルギー使用量【新規】(※5)	7,790TJ (H21)	7,217TJ (H29)	7,219TJ (H30)	7,259TJ (R1)	7,489TJ (R2)	7,614TJ (R3)	減らす		88ページ
		⑥雨水貯留槽設置件数	195件	275件	281件	288件	301件	309件	400件		89ページ
		⑦ミニバス利用者数	576.7 千人	676.3 千人	503.7 千人	647.5 千人	695.7 千人	679.3 千人	780.0 千人		89ページ
環境分野情報	環境への適切な情報提供	①子どもを対象とした環境に関する活動の実施回数	20事業	19事業	2事業	10事業	14事業	18事業	24事業		108ページ
		②ユネスコスクール登録校の環境教育への取組みの情報発信	0校	26校	26校	26校	26校	26校	全校 (26校)	目標達成	108ページ

(※1) みどり率の基準値は平成21年度の数値。調査は不定期に実施しているため、令和2年度、3年度、4年度、5年度の数値はない。なお、基準値には、都立公園の都市計画決定面積が含まれていたため、これを除き改めて算出した値を使用している。実績値についても同様の算出方法である。

(※2) 世論調査の結果を元に算出しているため、令和2年度、令和4年度の数値はない。

(※3) 環境基準が改正されたことにより、令和4年6月より「大腸菌群数」から「大腸菌数」に変更して評価を行っている。

(※4) データの取得はイベント時等においてアンケートにより実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響でイベント等を開催することができず、有効な票数を獲得することができなかったため、数値は存在しない。

(※5) 出典元のデータ公表タイミングの関係で、基準値は平成21年度、R5は令和3年度の値を記載している。

評価別項目数の合計

	管理指標数																			
	19																			
	目標に対する進捗評価																			
	目標達成					前進					変化なし					後退				
	R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3	R4	R5
	2	3	3	3	3	5	4	11	8	5	6	5	3	4	3	7	7	2	4	8
自然環境	1	2	2	2	1	3	0	3	2	2	2	3	0	1	0	0	0	0	0	2
生活環境	0	0	0	0	0	1	2	2	1	1	3	2	3	3	2	1	1	0	1	2
地球環境	0	0	0	0	1	1	2	5	4	1	0	0	0	0	1	6	5	2	3	4
環境情報	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0

